

サンセイランディック大阪便り Vol.51

平成28年5月号

不動産 よもやま話

ゴールデンウィークも明け、新緑の美しい季節ですね。今年の新入社員の方の中には、早速五月病に悩まされている方もいるかもしれません。でも悩ましいといえば先月、熊本から大分で起こった震災です。私がこの文章を書いている現在、連日の様に余震を知らせる臨時ニュースがテレビで流れていますが、これが皆様の元へ届く頃には、少しでも被災者の方々が地震の恐怖から解放され、生活再建の目途が立っていれば良いなあと、祈るばかりです。

さて今回のテーマは来年の消費税率 10%への引き上げなのですが、今回の熊本地震の発生と相次ぐ余震は、安倍首相の政権運営に影響を及ぼしそうです。政府・与党内では来年4月に予定されている消費税増税は難しいとの見方が出始めています。首相はこれまでの国会答弁や記者会見などで、リーマンショックや大震災級の事態が発生しない限り、予定通り増税すると繰り返し述べてこられました。実際に熊本で起こったのは阪神大震災と同レベルの地震ですし、被災者の生活が1年足らずで再建される保証もなく、さてどうなるか…我々一般の消費者も生活に直接影響する消費税増税、気になるどころですし、また不動産業者としてみると、消費税増税を前に消費者が不動産購入をどう考えているか、注目するところでもあります。そんな中、住宅金融支援機構より「平成28年度における住宅市場の動向について」の発表があり、一般消費者（平成28年4月から平成29年3月に住宅取得を検討している25～59歳の男女）へインターネット調査（平成28年2月）が実施された結果をご紹介します。1,100件の有効回答の一部を抜粋すると、「これからの一年間（平成28年4月～平成29年3月）は住宅の買い時だと思うか」の問いに対し、「買い時だと思う」が61.9%を占め、「買い時ではない」の6.4%を大きく上回りました。その理由として（3つまで複数回答可）、「今後消費税率が引き上げられるから」が74.7%で最も多く、次いで「住宅ローン金利が低いから」が66.2%、「住まい給付金、贈与税非課税措置（住宅取得等資金）、住宅ローン減税等がある（または措置の拡充が検討されている）から」が15.6%の順だったようです。消費税率の引き上げ見込みを理由に、購入検討者の6割超が平成28年度は「買い時」と感じている現在ですが、今回の熊本の震災復興が優先されるべきであり、実際に来年4月に増税されれば被災者の生活再建の足かせになることには間違いないでしょう。個人的な意見になりますが、不動産の購入が促進されるのは業者としてはありがたい事ですが、やはり一番は被災者の立場に立って、「予定通り、変えない」ばかりじゃなく、消費税増税を含めた安倍首相の政権運営に、もう少し柔軟性を求めたいと思います。

社員の 独り言

私には仏像と歌舞伎が大好きな息子がおり、今年4月から幼稚園に通っています。初体験の集団行動で、勉強や遊びに興味津々！毎日はいしゃいで楽しく過ごしています。4月の3週目からお弁当が始まり、その初日に面白い出来事がありました。初めてのお弁当なので好きな物だけを入れて作るようにと先生から指示があり、妻は、おにぎりにタコさんウィンナー、卵焼き、ひじき等、息子の好きな物ばかりを入れたそうです。その日昼過ぎに妻が幼稚園へ息子を迎えに行くと、息子はカバンを背負いはしゃいで園内で遊んでいたそうなのですが、見るとずっと右手をグーにしたまま…気になって息子を呼び右手を開くとその中には黒い物体が…！「これ、何？」と聞くと「ダシのついたおいしいやつ！！」と。良く見ると2、3本束になったヒジキが…！「ヒジキ、どうしたん？落としたん？」と聞くと「うん！大事やから」と。詳しく聞いてみると、お弁当を食べ終わる頃にふと椅子の足元を見るとヒジキが落ちており、どうしたら良いのかわからず手に握りしめていたそうで…。要領が悪いのか素直すぎるのか、その話を聞くとすっかり感動して抱きしめてしまいました。全く親馬鹿です(笑)。私にもこんな頃があったのでしょうか、大人になり日々の忙しさにすっかり忘れてしまった初々しい感性を垣間見たようで、成長していく息子が楽しみでありながら、どうかこのまま素直な5歳児でいて欲しいような、複雑な気分になりました。営業:M

底地・居付き、買います。

株式会社サンセイランディック 大阪支店
〒541-0046 大阪市中央区平野町3-6-1
あいおいニッセイ同和損保御堂筋ビル3階
TEL : 06-4706-0040 FAX : 06-4706-0045



証券コード:3277

底地くん

